

2025

11/21

金

第1部 演題

目の健康アップデート 2025

～ 身近な目の病気から失明のリスクまで ～

第2部 演題

顔の痛み・ピクつきに悩む方へ

～ 三叉神経痛・顔面けいれんの原因と最新治療 ～

第1部 講師

眼科

准教授 臼井 嘉彦 医師



現代社会では、スマートフォンやパソコンの長時間使用により、近視や眼精疲労が急増しています。また、中高年では老眼や白内障といった加齢に伴う変化が避けられず、生活の質に大きな影響を与えます。さらに、網膜剥離・糖尿病網膜症・緑内障・加齢黄斑変性・ぶどう膜炎などは、放置すれば失明につながる代表的な病気であり、早期発見と適切な治療が不可欠です。また、失明の主因である緑内障や黄斑変性を見逃さないためのチェックポイント、視力の急な低下やゆがみ、飛蚊症や光視症などの症状が現れたときの受診の重要性を紹介します。本講演では、こうした“身近な悩みから失明に関わるリスクまで”幅広い眼疾患について、最新の知見と予防法を解説します。皆さまの「見える」を未来へつなぐ一助となれば幸いです。

第2部 講師

脳神経外科

講師 松島 健 医師



「顔が突然ビリッと痛む」「目や頬がピクピクする」といった症状にお悩みの方はいませんか？

これらは、脳神経が血管に圧迫されて起こる「三叉神経痛」や「顔面けいれん」と呼ばれる病気の可能性があります。薬による治療で改善する場合がありますが、症状が強い場合や効果が不十分な場合には、手術で根本的に治すこともできます。

本講演では、これらの病気の原因や診断方法、そして内視鏡や術中モニタリング、自己フィブリン糊の活用などによる最新の安全な手術法について、実際の症例を交えながら、わかりやすくご紹介します。



日時 2025年11月21日(金) 開場 16:30 開演 17:00 ～ 閉演 18:30(予定)

会場 東京医科大学病院 本館 9階 臨床講堂 (最寄駅: 丸ノ内線 西新宿駅)

申込 事前の申込は不要。当日は会場に直接お越しください。

※尚、座席数に限りがございます(360席)。満席の場合は入場をお断りする場合がございますので予めご了承ください。